

学会ニュース

1. 第10回年次大会（2021年9月2～3日）報告
2. 部会（2021年12月～2022年5月）報告
3. 第11回年次大会（2022年9月1～2日）案内

1. 第10回年次大会報告

- ・日 程 2021年9月2日（木）～3日（金）
- ・場 所 オンライン（Zoom）
- ・主 催 企業と社会フォーラム
- ・本大会プログラム委員会

- ・Valentina Carbone (Professor, ESCP, Paris, France)
- ・Michele John (Professor, Curtin University, Australia)
- ・西尾チヅル（筑波大学大学院ビジネス科学研究科教授）
- ・谷本寛治（早稲田大学商学学術院商学部教授）

- ・テ ー マ 「サーキュラーエコノミーを目指して」

生産—消費—廃棄，これは伝統的な産業モデルであり，これまでのビジネスはこのモデルで行われてきました。しかしこの直線的なモデルはもはや持続可能ではなくなっています。Ellen MacArthur Foundationなどは，資源やエネルギー消費と経済成長を切り離し，実行可能で再生可能な循環型経済（サーキュラーエコノミー）を提唱しています。サーキュラーエコノミーでは，廃棄物となったものが他のバリューチェーンの資源となること，生産から消費そして廃棄に至るまでの商品ライフサイクルの全ての段階で，いま使われているものを最大限利用していこうとしています。

サーキュラーエコノミーのビジネスモデルに関する文献では，廃棄物のリサイクル戦略（循環をつくる）や商品寿命を伸ばすためのエコ開発（循環のスピードを緩める）が多く論じられてきました。また高い耐久性による消費サイクルの長期化，所有に代わって必要な時に利用することや，デジタルプラットフォームを通じた商品の再循環の支援といったシェアリングエコノミーのように，従来とは異なる方法によって循環スピードを緩めることが議論されています。

世界が直面している危機的な気候変動や資源不足，廃棄問題のもと，各国では循環型の事業イニシアティブを活性化させ，直線的なモデルを一部の戦略的なものに限定し，サーキュラーエコノミーへ移行することを促す法規制づくりが進められています。

2021年JFBS年次大会では，サーキュラーエコノミーの理論構築と実践に向けた議論を進めていきました。サーキュラーエコノミーはどのように周辺概念やパラダイム，例えばサステナビリティや産業エコロジー（産業における資源やエネルギーの流れ），パーマカルチャー（持続可能な農業・文化），シェアリングエコノミーに影響を及ぼすのか。われわれは，サーキュラーエコノミーにかかわるテーマを学際的に考えるとともに，これまでのそしてこれからの議論と具体的な取り組みについて多様な視点から議論しました。

・プログラム

<大会1日目：2021年9月2日>

10:30-11:30	JFBS 理事会
11:30-12:00	JFBS 総会
12:00-13:00	受付
13:00-13:10	Opening Remarks ・ Kanji Tanimoto (President, Japan Forum of Business and Society / Professor, School of Commerce, Waseda University, Japan)
13:10-15:00	Keynote Speech ・ R. Edward Freeman (Professor, Darden School of Business, University of Virginia, USA) “Stakeholder Capitalism and Circular Economy” ・ Valentina Carbone (Professor, ESCP, Paris, France) “How to explain the success of Circular Economy in the Anthropocene Era? – When framing matters” ・ Marjut Hannonen (Minister-Counsellor, Head, Trade Section, Delegation of the European Union to Japan) “A New Circular Economy Action Plan” ・ Tomomi Fukumoto (Executive Officer, Division COO, Corporate Sustainability Division, Suntory Holdings, Japan) 「『水と生きる』企業の循環型社会への取り組み」 【Chair】 Kanji Tanimoto (Professor, School of Commerce, Waseda University, Japan)
15:00-15:10	休憩
15:10-16:25	Plenary Session 1 “Circular Economy Transition: Exploring the Institutional, Organizational & Behavioral Dimensions” ・ Marjut Hannonen (Minister-Counsellor, Head, Trade Section, Delegation of the European Union to Japan) ・ Izumi Sato (Lawyer, Japan) ・ Tomomi Fukumoto (Executive Officer, Division COO, Corporate Sustainability Division, Suntory Holdings, Japan) ・ Michele John (Professor, Faculty of Science and Technology, Curtin University, Australia) 【Chair】 Masahiro Okada (Professor, Graduate School of Business Administration, Keio University, Japan)
16:25-16:35	休憩
16:35-18:05	Breakout Session Organized 1 「プラスチック資源循環の課題と可能性」 ・ 内田雄作（サントリーホールディングス サステナビリティ推進部課長） ・ 黒田美夕起（横浜市温暖化対策統括本部 SDGs 未来都市推進課長） ・ 佐藤泉（佐藤泉法律事務所弁護士） ・ 中台澄之（ナカダイ代表取締役） 【司会】 今津秀紀（凸版印刷マーケティング事業部 SDGs プロジェクト部長） Session 1 (CFP) “Social Inclusive Business” 1. Natalie Beinisch (Circular Economy Innovation Partnership, Nigeria), Christoph Biehl (Lloyds Banking Centre for Responsible Business, University of Birmingham, UK), Jennifer

	<p>Tyree-Hagemann (Lloyds Banking Centre for Responsible Business, University of Birmingham, UK), Adun Okupe (London Business School, UK) and Kofi Gyamfi</p> <p>"Financing Circular Economy Business Models for the Bottom of the Pyramid (BoP)"</p> <p>【Chair】 Kazue Haga (Waseda University, Japan)</p>
	<p>Session 2 (CFP) "Transition to Circular Economy I"</p> <p>1. Julia Gross (University of Hamburg, Germany) "How asset managers' sensemaking of circular economy changes over time"</p> <p>2. Ida Rovanto (Aalto University, Finland / Waseda University, Japan) "Driving circular economy - Societal impact from small businesses"</p> <p>3. Thanyada Ritthinumporn (Thammasat University, Thailand) "The Societal Integration of Circular Economy with Community-Driven Initiatives in Local Cotton-Textile Artisan Communities in Thailand"</p> <p>【Chair】 Michele John (Curtin University, Australia)</p>

<大会 2 日目 : 2021 年 9 月 3 日>

9:00-10:30	<p>Breakout Session Organized 2 「プラットフォーム・ビジネスによる食品ロス問題の解決」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊作太一 (コークッキング共同創業者・取締役) ・関藤竜也 (クラダシ代表取締役社長) ・高橋博之 (ポケットマルシェ代表取締役) ・渡辺達朗 (専修大学商学部教授) <p>【司会】 大平修司 (千葉商科大学商経学部教授)</p>
	<p>Session 3 (CFP) "Current Issues of CSR"</p> <p>1. 池内博一 (追手門学院大学) 「インターネットによる消費者の誹謗中傷と企業の法的対応」</p> <p>2. 熊沢拓 (ソーシャルインパクト・リサーチ) 「日本の上場企業の炭素排出量と利益性の両立度合いと株価パフォーマンスの関係、及びインパクト加重会計を用いた環境インパクトを考慮した考察」</p> <p>3. Li Jiarong (Hitotsubashi University, Japan) "The diverse role and extended scope of CSR stakeholder in emerging countries"</p> <p>【Chair】 Miho Murashima (Rikkyo University, Japan)</p>
10:30-10:50	休憩
10:50-12:20	<p>Breakout Session Organized 3 "Sustainable Fashion: 3R (Recycle, Reuse, Reduce) and C (Certification) in the fashion industry"</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Angela Ortiz (Founder & CEO, Place to Grow, Japan) ・Kyle Parsons (Founder and CEO, Indosole, USA) ・Kenji Tanaka (CEO, Gordon Brothers Japan, Japan) ・Kazumi Watanabe (Managing Director, Peterson Projects & Solutions Japan, Japan) <p>【Chair】 Hiroshi Amemiya (Head of Japan, Arabesque S-Ray GmbH Japan branch, Japan)</p>
	<p>Session 4 (CFP) "Waste Problems"</p> <p>1. 宮下佳子, 西尾チヅル (筑波大学) 「消費者の食品ロス削減に対するエシカル POP シールの効果」</p> <p>2. Antonio Formacion (Kyushu University, Japan) "Right to repair" and the Circular Economy: Slowing the loop of smartphones demand</p>

	<p>and manufacture"</p> <p>【Chair】 Shuji Ohira (Chiba University of Commerce, Japan)</p>
	<p>Session 5 (CFP) Doctoral Workshop</p> <p>1. Naomi Inoue (Tokyo University of Foreign Studies, Japan) "Unpacking the mechanism of promoting Business and Human Rights (BHR) through United Nations Guiding Principles on Business and Human Rights (GPs) and related key measures in Africa"</p> <p>2. 横沢泰志 (拓殖大学) 「ごみ処理へのサーキュラー・エコノミーモデルの適用 ～マンション・コミュニティにおけるサステナブルなごみ排出モデルと管理組合マネジメント～」</p> <p>【Mentor】 Kyoko Fukukawa (Hitotsubashi University, Japan) Masaatsu Doi (Hosei University, Japan)</p>
12:20-13:20	昼食
13:20-14:50	<p>Breakout Session Organized 4 「プラスチック資源循環への具体的なアプローチ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷純子 (花王 ESG 部門 ESG 広報担当部長) ・エリック カワバタ (テラサイクルジャパン アジア太平洋統括責任者) ・古谷誠士 (凸版印刷 情報コミュニケーション事業本部 技術戦略・開発部 課長) <p>【司会】 今津秀紀 (凸版印刷 マーケティング事業部 SDGs プロジェクト部長)</p>
	<p>Session 6 (CFP) "Transition to Circular Economy II"</p> <p>1. 趙誼 (東京大学) 「日本企業におけるサーキュラーエコノミー移行のための課題及び戦略」</p> <p>2. Rebecca Chunghee Kim (Ritsumeikan Asia Pacific University, Japan) "Is Business Inclusive Leadership Possible by Applying Sustainable Development Goals? The Korean Big Conglomerates (Chaebols) Examined"</p> <p>【Chair】 Masahiro Okada (Keio University, Japan)</p>
14:50-15:10	休憩
15:10-16:30	<p>Plenary Session 2 "Wrap-up Session: Circular Economy Transition: Exploring the Institutional, Organizational & Behavioral Dimensions"</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨宮寛 (アラベスク S-Ray 日本支店代表) ・今津秀紀 (凸版印刷 マーケティング事業部 SDGs プロジェクト部長) ・大平修司 (千葉商科大学商経学部教授) <p>【司会】 岡田正大 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授)</p>
16:30-16:40	<p>Closing Remarks</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Kanji Tanimoto (President, Japan Forum of Business and Society / Professor, School of Commerce, Waseda University, Japan)

2. 部会報告

第34回東日本部会

- ・日 時：2021年12月19日（日）13：00～16：25
- ・場 所：オンライン（Zoom）
- ・テーマ：ビジネスと人権
- ・講演者・報告者等：
 - (1) ビジネスと人権に関する行動計画と日本企業の課題－CSR, SDGs, ビジネスと人権について基礎知識と行動計画の公表後、企業に求められるもの
【講演者】 齊藤誠（弁護士法人齊藤法律事務所弁護士）
 - (2) ビジネスと人権の最新動向
【講演者】 佐藤暁子（ことのは総合法律事務所弁護士／認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウ）
 - (3) 中国企業のサステイナビリティ・サプライチェーンにおける社会的側面のマネジメントに関する研究
【報告者】 姚瑤（法政大学大学院公共政策研究科博士後期課程）
足立伸也（法政大学大学院公共政策研究科博士後期課程）
金藤正直（法政大学大学院公共政策研究科教授）
 - (4) 企業における「人間の安全保障」インデックス（CHSI：アジアからの「ビジネスと人権」の主体的な取り組みを促すために）
【報告者】 佐藤安信（東京大学大学院総合文化研究科教授）
 - (5) 紛争鉱物人権デュー・デリジェンス：紛争解決からの視点
【報告者】 高美穂（コベントリー大学 信頼・平和・社会関係センター助教授）
- ・司 会：岡田正大（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）

第35回東日本部会

- ・日 時：2022年3月12日（土）13：00～15：15
- ・場 所：オンライン（Zoom）
- ・テーマ・報告者等：
 - (1) プロフェッショナル・サービスの戦略フレームワーク：スタートアップ公認会計士事務所のマーケティング戦略の変容
【報告者】 大驛潤（中央学院大学大学院商学研究科教授）
 - (2) 企業の社会性と個別企業の競争優位の関係について
【報告者】 岡田正大（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）
- ・司 会：岡田正大（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）

JFBS シンポジウム

- ・日 時：2022年5月14日（土）13：00～16：00
- ・場 所：オンライン（Zoom）
- ・テーマ：ビジネスと人権
- ・報告者等：
 - (1) 人権デュー・デリジェンス／UNDPプロジェクト／ビジネスと人権のグローバルな枠組み
【報告者】 佐藤暁子（ことのは総合法律事務所弁護士／国連開発計画アジア太平洋地域事務所 ビジネスと人

権プロジェクトリエゾンオフィサー)

- (2) ビジネスと人権 — 責任あるビジネスと企業価値の向上：ユニリーバ社の Compass Strategy を題材に

【報告者】北島敬之（ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社 代表職務執行者 ジェネラルカウンセル）

- (3) ビジネスと人権の実践 — ミャンマーにおける人権問題の切り口

【報告者】湯川雄介（西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士・ヤンゴン事務所代表）

- (4) ケース討論「Telenor ミャンマー：M1 グループへの事業売却」

【Chair】佐藤暁子（ことのは総合法律事務所弁護士／国連開発計画アジア太平洋地域事務所 ビジネスと人権プロジェクトリエゾンオフィサー）

【討論者】シンポジウム参加者

北島敬之（ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社 代表職務執行者 ジェネラルカウンセル）

湯川雄介（西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士・ヤンゴン事務所代表）

・司 会：岡田正大（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）

3. 第11回年次大会案内

- ・日 程 2022年9月1日(木)～2日(金)
- ・場 所 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎およびオンライン(ハイブリッド)
- ・主 催 企業と社会フォーラム
- ・後 援 IEEE Japan Council
- ・本大会プログラム委員会

岡田正大(慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授)

谷本寛治(早稲田大学商学学術院商学部教授)

- ・テ ー マ 「デジタル・トランスフォーメーション(DX)による社会的価値の創出:持続可能性(SD)実現におけるデジタル技術の役割」

企業経営、公的セクター、非営利セクターの如何を問わず、デジタル技術による変革(Digital Transformation, DX)は経営トップ喫緊の課題とされ、DX推進の勢いはとどまることを知りません。2000年前後を基点とするネット革命の潮流は、昨今のIoT、AI、データ分析手法、通信技術の急速な進歩によりさらに加速しています。さらに世界的なCOVID-19のパンデミックは、ITの果たす重要な役割を強く印象付けました。企業と社会はこうした変革を、持続可能性を前提として進めていかねばなりません。

現実社会では急速なITの浸透に対する心理的抵抗も存在します。簡単に言えば従来の仕事のやり方や社会の秩序・構造を根底から変えてしまうその威力に対する意識的または無意識的抵抗です。たとえば大学でのオンライン授業も、頻度が上がりすぎれば、対面授業・学習を重んじてきた背景により、社会的抵抗を招きます。こうした技術と人間の相克に対峙しつつも、私たちはデジタル技術の恩恵を最大限に活用して様々な困難や課題を解消し、地球全体のウェルビーイングを持続可能な形で追求することが求められています。

本年次大会では、デジタル技術そのものが社会に与える正/負の影響を考察するとともに、持続可能性を担保した企業社会の発展や社会的価値創出戦略の成功にデジタル技術がどのように貢献しうるかを検討します。

<研究テーマの例>

1. 廃棄物処理やリサイクル・アップサイクルにおけるICT・ネットワークの活用
2. 健康、農業、教育、働き方、生物多様性保全、セキュリティ、リサイクル・システム、サステナブル観光などにおいての、デジタル技術活用の事例研究
3. キャッシュレス化と社会関係資本の役割や、人間の信頼関係がFintechの浸透に与える影響
4. DXによるQWL、ウェルビーイング向上への貢献と、負の側面(失業・イリテラシーによる置いてけぼりなど)への影響
5. ブロックチェーン技術を活用したCSR調達システム
6. デジタル技術の発展への将来展望と課題:例)AIがもたらす技術的特異点(technological singularity)と社会の価値判断尺度との関係。責任の所在。

多くの参加者の皆様によって、新しい議論が提起されることを期待しています。

- ・ 主な内容
- < Keynote Speech >
- ・ 宮田裕章（慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授）
 - ・ 福田 譲（富士通株式会社 執行役員 Executive Vice President CIO, CDXO（最高デジタル変革責任者）補佐）
- < Plenary Session >
- ・ 宮田裕章（慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授）
 - ・ 福田 譲（富士通株式会社 執行役員 Executive Vice President CIO, CDXO（最高デジタル変革責任者）補佐）
 - ・ 南雲岳彦（一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 専務理事）
 - ・ Daniel McFarlane (Director, The Centre of Digital Technology & Society, School of Global Studies, Thammasat University)
- < 企画セッション >
1. 地方創生× DX
 2. サプライチェーン× DX
 3. 金融× DX
 4. B Corp コミュニティにおけるデジタルと社会的価値

最新の詳細プログラムは、学会ウェブサイトを参照ください。

https://j-fbs.jp/annualconf_2022.html